

令和4年度  
事業計画

公益社団法人 全国競輪施行者協議会

## 事業方針

令和3年度の車券売上高は、新型コロナウイルス感染症による影響があったものの、インターネット投票売上が増加し、前年同期比130.4%（令和4月1月末現在）と平成26年度から8年連続で前年度を上回っている。

新型コロナウイルス感染症の先行きは不透明ではあるが、引き続き感染症対策に全力を尽くすとともに、令和3年3月に競輪最高会議において決定した中期基本方針の下、令和8年度における売上1兆円及び施行者収益230億円の達成を目指す。

令和4年度は、中期基本方針を踏まえ、以下の事項について重点的に取り組む。

### ◆ 新法人の設立

映像管理、広報、投票、システムを一元的に取り扱う法人を新たに設立し、競輪の価値の向上、施行者収益の拡大及び業務執行の効率化などを図り、施行者利益の確保と社会還元の最大化を進める。

### ◆ 映像の管理

各競輪場のレース映像の権利関係等を一元的に管理・運用する仕組みを構築し、映像の付加価値化を高めるとともに、広報など多様な分野での映像の活用を図り、競輪の魅力を一層高める。

### ◆ 新規顧客の獲得

20歳代から40歳代の若者層をターゲットとして、競輪の「スポーツ性」や「メジャー性」などをインターネットはじめ様々なメディアを駆使して発信し、新規顧客を獲得する。

### ◆ 新型コロナウイルス感染症への対応

競輪事業の安心・安全を確保するため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を的確に講じるとともに、コロナ禍の下で行った令和3年度の開催枠組を検証の上、開催枠組全体の在り方を検討し、売上・収益の増加を図る。

### ◆ ギャンブル依存症対策の推進

政府が定める「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」（令和4年3月更新予定）を踏まえた効果的な施策を検討・実施し、ギャンブル等依存症対策の着実な取り組みを進める。

## 企 画 部

### ○ 企画関係

#### 1 開催枠組

令和4年度は、42競輪場で15節46日、250競走を開催する千葉競輪場は50節100日を基本に開催する。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、令和3年度はGグレード9車立、Fグレード7車立を基本として開催した。

令和4年度においても、コロナ禍の収束が見通せない状況にあるため、令和3年度と同様に開催する。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大の状況等の変化があった場合は、再度検討する。

この開催枠組での売上等の検証を行い、令和5年度以降の開催枠組のあり方を検討する。

#### 2 売上・収益増加

##### (1) 施設整備等協賛競輪

多場併売のシステム整備促進に取り組む施行者をサポートするため、令和3年度から6年間、施設整備等協賛競輪を年間4節程度（令和4年度は3節〔青森、富山、伊東温泉〕）開催し、同競輪の収益からの拠出金により施行者支援を行う。

なお、令和4年度における同競輪の売上や拠出金等をもとに令和5年度以降の開催節数について、再検討する。

##### (2) 大阪・関西万博協賛競輪

令和7年に大阪で開催される、日本国際博覧会事業を支援するため、令和3年度から5年間、大阪・関西万博協賛競輪を開催する。

令和4年度は8月4日～7日（岸和田）で実施する。

上記GⅢの他、令和4年度下期日程において同協賛競輪のFⅠ開催を予定している。

##### (3) Gグレード開催の活性化策

中期基本方針に示されている「グレードレース改善方策について」に基づき、開催日数、車立数、レース数等について、売上や収益面から分析を行い、分析結果に基づいてグレードレースの改善策を検討する。

##### (4) Fグレード開催の活性化策

###### ア モーニング競輪

令和3年度において、モーニング競輪の開催日数増加や収益改善を図ることを目的に、①開門時間をこれまでの8時台から10時とする、

②無観客で開催する、③モーニング競輪の第1レース発走予定時刻（8時30分）とする施策を実施した。令和4年度も引き続き、これらの施策を実施し、売上、収益の拡大を図る。

#### イ ミッドナイト競輪

令和3年度まで、ミッドナイト競輪の開催は1日最大2節競合までとしていたが、同競輪の開催節数の増加に伴い、令和4年度から一部日程において1日最大3節競合（7レース制）を試行実施する。

また、S級戦5レースを含む開催及びL級戦4レース（2レース制×2）を含む開催を上期において試行実施する。

試行実施における売上等を分析し、今後のミッドナイト競輪のあり方を検討する。

#### （5）ガールズケイリンの推進

ガールズケイリンは令和4年度に開始から10年を迎えるため、女子選手が出場する競輪10周年記念事業（①女子選手のための開催〔6月29日～7月1日：平塚競輪場〕②企画単発共同レース〔9月19日：共同通信社杯最終：名古屋競輪場〕）を実施する。

10周年記念事業の実施を契機に6レース制の本格実施などガールズケイリン推進策を検討する。

### 3 開催経費の削減

#### （1）選手賞金

平成29年度以降の賞金は、経産省車両室の裁定のもと、車券の売上増減率に基づき、賞金総額を算定している。

現在の賞金総額算定スキームは、総売上が増加すれば賞金総額が増加する構図となっているため、令和4年度は施行者の収益状況を踏まえた賞金総額算出方法等を検討し、日競選と協議を行う。

また、次年度賞金決定時期については、前年度末となっているため、施行者予算編成時期を考慮した時期へ見直す協議を行う。

#### （2）競技実施法人委託費

これまでJKA競技実施法人への随意契約を前提に適正かつ妥当な委託費の算定及び算定方法を決定してきた。

令和3年7月に（一財）日本サイクルスポーツ振興会が競技実施法人として経済産業大臣の指定を受けたことに伴い、各施行者の契約規則等に則った、新たな対応が必要となる。

こうした状況をふまえ、引き続き、競技実施法人の委託費について検討する。

#### 4 ギャンブル等依存症対策

令和4年3月を目途に政府が更新する「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」で示される今後取り組むべき各施策について、関係省庁、他の公営競技4団体及びJKAと連携し、具体的検討を進める。

### ○ 調査関係

#### 1 競輪場サマリーの作成

全国43競輪場の売上・収支動向や自治体基本情報等の基礎データを取りまとめた「競輪場サマリー」を更新するとともに、必要に応じ、項目等の追加、見直しを行い、更に充実した内容に改訂する。

#### 2 施行者収支決算の取りまとめ

施行者収益改善に向け、施行者収支決算の取りまとめと決算内容の精査を行う。

新型コロナウイルス感染症拡大防止により車券発売チャンネルの構成比の変化に伴う収支決算の分析や比較を行う。

#### 3 統計資料の作成

売上振興策の検討に資するため、車券売上高（チャンネル別、グレード別、開催区分別〔モーニング、昼間、ナイター、ミッドナイト〕等）及び入場者数の統計資料を作成する。

また、他公営競技の売上、入場者数等の資料作成を行う。

## 業務・広報部

### ○ 業務関係

#### 1 特別競輪等

令和3年度から、新規顧客の開拓、電話投票売上の拡大等を図るため、オールスター競輪についても競輪祭に続き、6日制に拡大しナイター開催で実施した。

また、オールスター競輪開催期間中における昼間F I開催についても、競輪祭と同様に、効率的に車券発売が可能となる開催枠組の構築を行った。

引き続き、売上等の検証を行い、G Iナイター開催と同開催期間中における昼間のF I開催の開催枠組や発走時間等について、必要に応じて見直しを行う。

また、特別競輪の活性化を図るため、特別競輪開催施行者から開催終了後に提出される「取組計画実施結果報告」を令和4年度特別競輪開催施行者と共有するとともに、概定番組の見直しや活性化策の検討を行う。

#### 2 記念競輪

令和3年度のGⅢナイター開催は、開催場数を拡大して6開催の試行開催を行った。

令和4年度については、引き続き6開催の試行開催を下記のとおり行うほか、四日市記念開催をナイター開催（補てん開催無し）で実施する。

開催施行者：松戸市

- 令和4年6月9日（木）～12日（日）
- 令和4年12月8日（木）～11日（日）

開催施行者：函館市

- 令和4年5月14日（土）～17日（火）
- 令和4年8月4日（木）～7日（日）

※ 大阪・関西万博協賛競輪（GⅢ）とのリレー開催

開催施行者：松山市

- 令和4年10月13日（木）～16日（日）
- 令和5年3月9日（木）～12日（日）

### 3 普通競輪

令和4年度は、F I 開催 262 節、F II 開催 326 節（ミッドナイト・モーニング振替前）を予定している。

F I 開催については、可能な限り F I 開催同士の競合緩和と記念競輪と競合する各地区の F I 開催の日数が公平になるよう開催日程の調整に努める。

また、ナイター開催は、新規参入や開催希望節数の増加等により、F I ナイター開催同士の競合開催が増加している中で、ナイター競合は3場以内としているが、可能な限り競合開催を抑えるとともに、ナイター非開催日が生じることがないように調整を行う。

令和4年度のミッドナイト競輪の開催予定節数は、令和3年度の226節から243節となり、2場競合だけでは243節の開催が行えないため、3場競合の試行開催を実施する。

モーニング競輪については、年々開催場及び開催節数が増加しており、令和4年度の開催予定節数は138節となった。

これまでは開催が重複しないよう調整を行っていたが、予定されている138節の開催を行うため、2場競合での開催を行う。

#### 《参考》 令和4年度のナイター競輪開催予定

	令和4年度（見込）	令和3年度	増減（見込）
競輪場	26 競輪場	26 競輪場	0
F I 開催	113 節	111 節	2 節増
F II 開催	83 節	74 節	9 節増
開催合計	196 節	185 節	11 節増

#### 《参考》 令和4年度のミッドナイト競輪開催予定

	令和4年度（見込）	令和3年度	増減（見込）
施行者	本場 30・借上 9	本場 25・借上 12	本場 5 増 借上 3 減
開催	243 節	226 節	17 節増

#### 《参考》 令和4年度のモーニング競輪開催予定

	令和4年度（見込）	令和3年度	増減（見込）
競輪場	25 競輪場	22 競輪場	3 場増
開催	138 節	113 節	25 節増

#### 4 大阪・関西万博協賛競輪等その他GⅢ開催

令和3年度はGⅢ開催として、大阪・関西万博協賛競輪及び施設整備等協賛競輪を開催した。

令和4年度についても、大阪・関西万博協賛競輪及び施設整備等協賛競輪を以下のとおり開催する。

##### 〔大阪・関西万博協賛競輪〕

開催施行者：岸和田市

○ 令和4年8月4日（木）～7日（日）

※ ナイターGⅢとのリレー開催

##### 〔施設整備等協賛競輪〕

開催施行者：青森市

○ 令和4年4月28日（木）～5月1日（日）

開催施行者：富山市

○ 令和4年11月17日（木）～20日（日）

開催施行者：伊東市

○ 令和5年2月16日（木）～19日（日）

#### 5 場外発売の拡大

令和2年度から移行した事務委託方式について、更なる事務の効率化を図るため、令和2年度に開催運営・広報委員会の下部組織として設置した「場外発売拡大に向けた諸課題検討作業部会」において、現在行っている場外発売に係る事務の課題整理と解消、精算システムの導入、適正な委託料率等を検討する。

#### 6 労務対策の円滑な推進と情報収集及び提供

従事員賃金及び一時金等の支給状況及び従事員実態調査結果を取りまとめ、労務管理のための資料として、速やかに施行者に情報提供する。



## ○ 広報関係

### 1 CMによる広報

#### (1) 令和4年度CMの放送

中期基本方針を踏まえたプロモーション基本戦略に基づき、メインターゲットを20歳代から40歳代の男性として、「競輪のスポーツ性」、「メジャー性」を伝え、競輪への好感や興味を持たせる新しいCMをインターネット、テレビ、ラジオ及びデジタルサイネージ等において放送することで、競輪の魅力を発信する。

また、競輪独自の「ビジュアル・アイデンティティ」及び「サウンド・ロゴ」を活用して、補助事業を含めた競輪業界関連CMにおいて、連動性を高めつつ、競輪の発信だとすぐ分かることで認知度を高める取組を行う。

加えて、同CMと連携したWEB動画等を活用することで、「けいりんマルシェ」に誘導し、より詳細な魅力を伝える。

#### <CM放送計画>

##### ○ TVCM

- エリア 関東、中部及び関西並びにGグレード開催場地元地区
- 方法 番組を固定しないスポット放送

##### ○ インターネット広告

- エリア 全国
- 方法 YouTube等効果的な手法を検討
- 20歳代～40歳代の男性をターゲットに展開

#### (2) 令和5年度CMの制作

同基本戦略の2年目にあたる令和5年度の事業実施に向けて、令和4年度放送CMについて、認知率等の調査を実施し、その結果を基に、令和5年度CMのあり方を検討する。

### 2 インターネット上の広報

CMの素材を活用したインターネット広告等を実施することにより、多くの視聴者に関覧してもらい工夫を行い、CMに興味・関心を持った若年層をターゲットに「けいりんマルシェ」へ誘導し、競輪の興味や関心を高め、車券購買・来場促進に繋がる取組を行う。

### 3 新聞による広報

#### (1) 特別競輪等開催時のスポーツ紙への記事掲載

令和4年度特別競輪等開催施行者（10 施行者）との協業により、全国スポーツ紙への競輪面 15 段カラー記事拡充を実施する。

#### (2) GⅢ出走表掲載事業

GⅢ開催時に、他地区スポーツ紙への全レース出走表掲載を実施する。

#### (3) FⅠ出走表掲載

JKAとの協業により、FⅠ開催の売上向上を図るため、開催時のスポーツ紙への全開催出走表掲載を実施する。

### 4 特別競輪等開催時における広報・宣伝支援

GⅡ以上の開催において、テレビ中継関係各社との事前調整、現地調整会議、新聞各社への表敬訪問、開催に係るリリース資料の作成等を行う。

また、開催期間中は、施行者やJKAと協力のうえ競輪場において報道関係者等の対応を行う。

### 5 スピードチャンネル放送料金

施行者収益に資するため、次年度の放送料金について(株)車両スポーツ映像と交渉を行う。

### 6 レース映像等の集中管理

令和4年度から実施するレース映像等の競輪映像について、管理・運用方法の検討を引き続き行い、適切に映像を管理することで映像の付加価値を最大限とするとともに、映像を有効に活用するための環境整備を行う。

## ○ 保安関係

### 1 自衛警備活動の強化

#### (1) 自衛警備体制等の実態調査

競輪場等の治安情勢に対応した自衛警備活動を推進するため、自衛警備体制及び警備資機材の整備状況並びに暴力団・ノミ屋等追放対策推進状況等の実態調査を行う。

#### (2) 警備担当者研修会の開催

自衛警備隊員の資質の向上を図り、法令に基づく適正な警備業務を推進するため警備担当者を対象とした研修会を開催する。

#### (3) 事故防止総合訓練の実施

競輪場等の秩序を維持し観客等の安全を確保するため、地震、火災等の突発事案の発生を想定した情報伝達、初期消火、避難誘導、負傷者救出救護等の総合訓練を実施する。

### 2 暴力団・ノミ屋等追放対策の推進

#### (1) 暴力団・ノミ屋等追放対策中央推進会議連絡会の開催

経済産業省及び警察庁担当官の出席の下に、暴力団・ノミ屋等の追放対策及び年間活動推進計画等について審議、決定する。

#### (2) 暴力団・ノミ屋等追放対策地区推進会議の開催

所轄経済産業局及び管区警察局等担当官の出席の下に、暴力団・ノミ屋等の追放対策推進状況の報告及び情報交換を行い、各地区における暴力団・ノミ屋等の追放対策を推進する。

#### (3) 暴追対策合同情報交換会議の開催

各地区別に競輪・オートレース・競艇の公営競技場による暴追対策合同情報交換会議を開催し、暴力団に関する情報交換と情報の共有化を図り、効果的な暴力団・ノミ屋等の追放対策を推進する。

#### (4) 暴力団・ノミ屋等追放対策推進ブロック連絡協議会の開催

各ブロック別に管区警察局、都府県警察本部、所轄関係機関及び各公営競技団体合同による暴力団・ノミ屋等追放対策推進ブロック連絡協議会を開催する。

暴力団・ノミ屋等の追放対策に関する情報交換と情報の共有化を図り、各公営競技団体等が統一した暴力団・ノミ屋等の追放対策を推進する。

#### (5) 暴追対策等現地関連調査

競輪場等に赴き自衛警備体制及び設備等の現状を視察し、各種資料の収集を図り、効果的な暴追対策を推進する。

## 情報システム部

### ○ 情報システム関係

#### 1 2022VISの安定稼働に向けた対応

稼働初年度となる2022VISについて、稼働状況や運用状況等を注視し、JKAと連携しながら安定稼働に努める。

また、システム経費の内容を精査し、施行者負担の軽減に努める。

#### 2 次期映像集配信ネットワーク（BRONSE）の構築

下期から稼働を予定している次期映像集配信ネットワークについて、円滑なリプレースが図れるよう受託事業者及び関係各所と調整を図る。

#### 3 民間ポータルとの協力関係の再構築

車券総売上額に占める民間ポータルの売上額の割合が増加する中で、各民間ポータルとの新たな協力関係を構築するための検討を行う。

#### 4 競輪場施設設備の状況把握と施設概要更新

競輪場の施設改修状況調査を通じて、競輪場施設整備の状況把握に努め、施設概要のデータを更新し施行者に情報提供を行う。

### ○ サイクルテレホン事務センター（CTC）関係

#### 1 電話投票・インターネット投票会員の拡大及び売上増加

##### □令和4年度の目標値

・会員数目標	総会員数	50.0万人
・CTC売上目標		1,700億円

##### (1) キャンペーン実施

入会促進と購入促進を目的としたキャンペーンをそれぞれ実施する。

##### (2) KEIRINオフィシャルポイントの充実

KEIRINオフィシャルポイントの利用登録者は、アクティブ率（車券購入の参加機会）及び平均購入額が高いことから、賞品内容の充実、利用登録促進キャンペーン、PR等により、利用登録者の増加を図り、CTC会員の定着化及び顧客満足度を高める。

##### (3) 広報・宣伝

###### ア WEB広告

訴求内容を入会促進と購入促進に区分し、それぞれに分別することにより、効果的にWEB広告を実施する。

**イ 新聞広告**

G P ・ G I 開催時に全国スポーツ紙にて新聞広告を掲載する。

**ウ メールマガジン・SNSによる情報提供**

会員向けメールマガジンや若年層の利用率が高い複数の SNS (Facebook、Twitter) を活用し、C T C の入会促進策や購入促進策等の情報を発信する。

**2 重勝式統一発売 (Dokanto!) 関係**

**(1) 重勝式統一発売 (Dokanto!) の売上増加**

**□ 令和4年度の目標値**

・ Dokanto! 売上目標 11 億円

**ア 民間ポータルとの共同事業**

民間ポータルと共同で、売上拡大を目的としたWEB広告事業を実施する。

**イ 新聞広告**

全国スポーツ紙に月間発売日程を毎月末に掲載する。

**ウ メールマガジン・SNSによる情報提供**

会員向けメールマガジンや若年層の利用率が高い複数の SNS (Facebook、Twitter) を活用し、Dokanto! の購入促進策等の情報を発信する。

## 総 務 部

### ○ 総務関係

#### 1 研修事業の実施

施行者の新任職員に対する研修として、平成 26 年度から所長・課長クラスを対象に「トップセミナー」を、平成 27 年度から一般職員を対象に「新任職員セミナー」を、それぞれ実施している。

これらの研修では、競輪界の現況や事業運営に関する課題等についての研修を実施している。

令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、「トップセミナー」及び「新任職員セミナー」については、オンラインによる研修会を行った。

令和 4 年度は、引き続き「トップセミナー」及び「新任職員セミナー」を実施するとともに、各競輪場の業務運営に資するための研修を行う。

#### 2 全国公営競技施行者連絡協議会

次期の「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」に基づく各施策の実施について、公営競技団体間で連携を図りながら検討を進める。

#### 3 新法人との協働

D X など社会環境の変化に的確に対応するとともに、映像、投票、広報、システムなどの諸課題を一元的に処理する新たな法人を設立する。

令和 4 年度は、映像の許諾等に関する業務を実施し、映像の高付加価値や活用により競輪の魅力を高める。また C T C の将来像を展望した改革に着手するとともに、民間ポータルサイトとの関係性の再構築を進める。